



PPG、過去最高の四半期売上高と四半期利益を記録

【ピッツバーグ、2006年7月20日(ビジネスワイヤ)】

本日、ピーピージー・インダストリーズ(PPG)は、過去最高の四半期売上高と四半期利益を発表した。第2四半期の純利益は2億8000万ドル(308億円)、売上高は28億2000万ドル(3100億円)で、過去最高だった2005年第2四半期の売上高を6%上回った。

昨年の第2四半期は、純利益が2億3100万ドル(254億円)で、売上高が26億6000万ドル(2930億円)だった。

2006年1~6月期については、純利益が4億6400万ドル(510億円)、売上高が54億6000万ドル(6010億円)となった。

昨年の1~6月期は、純利益が3億2600万ドル(359億円)、売上高が51億5000万ドル(5670億円)だった。

「今回発表された業績は、弊社が目標とする『収益性を伴った成長』が達成されていることを実証しています。弊社のポートフォリオのほぼ3分の2を占める塗料と光学製品における弊社の勢いに衰えは見られません。塗料と光学製品を合わせると、第2四半期の成長率は10%を超えました。」

「今後を展望すると、弊社のフリーキャッシュフローにとっての優先課題の一つが、第2四半期に発表した5件の買収のような投資増強策であることには変わりはありません。北米での成長率は、より持続可能なレベルへと落ち着いてきていますが、世界的に見れば経済成長は続いています。第2四半期に弊社が実証してみせたように、このような経済情勢は、弊社がお客様と株主の皆様にもバリューを生み出す有意義な機会となっていると言えます。」PPGの会長兼最高経営責任者チャールズ・E・バンチは、以上のように語った。

塗料事業部門の売上高は、特にアジアとヨーロッパでの売上数量の伸び、全事業部を通じた販売価格の改善、買収効果、ドル安のプラス効果などによって、前年同期比で1億2900万ドル(142億円)、9%増となった。

ガラス事業部門は、ほとんどの事業部における売上数量の増加により、前年同期比で3000万ドル(33億円)、5%増となった。

化学品事業部門は、クロルアルカリ製品の販売価格上昇、既存事業の拡大と買収による光学製品の売上増によって、前年同期比で900万ドル(10億円)、1%増となった。その反面、クロルアルカリ製品の売上数量の減少によるブレーキもあった。

お問い合わせ先:

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-15-1

渋谷クロスタワー13階

PPG ジャパン(株)

工業用塗料部

TEL 03-3476-7015

FAX 03-5778-2557

E-mail: sales_japan@ppg.com

ホームページ: <http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustrialCoatings/Japan>